

編集後記

■編集委員 (50 音順)

出 月 康 夫	北 島 政 樹	北 野 正 剛	小 西 文 雄
白 日 高 歩	堤 治	万 代 恭 嗣	東 原 英 二

1986年に打ち上げられた旧ソ連の宇宙船『ミール』が落下しようとしている。15年にわたり宇宙滞在記録を次々に更新し、宇宙医学の進歩に大きく貢献しその役目をまさに今終えようとしている。当時のことを思い返してみよう。パソコンのプログラムはBasicで簡単な統計計算とワープロ機能がついているのみで、大きさもアタッシュケースほどの大きさで5kg以上もあったと記憶している。その後、10年で1,000倍と言われる情報処理速度は世の中の基本構造を大きく変えた。携帯電話にしても鞆ほどの大きさでほとんど誰も持っていなかったものが、今や小学生からお年寄りまで4,000万人が持ち、加入電話数を超えたと報じられている。また、そのうちiモードはすでに2,000万人に達し、昨年3月の500万人から1年で4倍と1日5万人もの爆発的な増加となっている。今、この編集後記をオーストラリア上空でパソコン上にしたためているところであるが、もう数年を経ずして航空機内で必要な情報が得られ、かつ、eメールと言おうか、あるいはg(global)メールとでも呼ばれるのであろうか、とにかく、編集部であれ、どこでも望むところへ画像や動画と一緒に送れるようになることは確かである。

このように加速度的に技術革新が進むなかで、時を同じくして始まった内視鏡外科は、物理的時間は15年程であってもその発展に要した時間は以前の数十倍の長さになるのではないかと考えてくる。したがって内視鏡外科の歴史もすでにかなりのものとなり、すでに成熟期に入っていると考えるのは考えすぎであろうか。

さて、本号の特集「内視鏡下手術における癌のリンパ節郭清」を見ると、機器も道具も借り物で手探りで始めた頃とは雲泥の差に驚くばかりである。消化器外科分野では食道癌、胃癌、大腸癌、呼吸器外科では肺癌、泌尿器科では腎癌、さらに婦人科領域では子宮癌におけるリンパ節郭清がここまで完全にできることが分かって頂けるものと確信している。また、小生が外科医を目指し必死で勉強した手術書(もちろん開腹下)の原色図よりもその再現性は高くリンパ節の郭清度が開腹術と同等以上と言うのもうなずける内容であろう。

もともと、はじめは癌は内視鏡外科の適応外と言われ、一部癌の内視鏡外科を進めるものは異端視されていたものが、現在、両手を挙げてとまでいかずとも、かなり容認されてきた。これには機器と技術の進歩により安全にリンパ節郭清が施行できるようになったということよりも、むしろ当初は腹腔鏡下胆嚢摘出で始めた内視鏡外科医が取り組んでいたものから、いわゆる癌専門医が本気で癌治療に内視鏡外科を取り入れ始め、その結果も出そろい始めていることのほうが大きな理由ではないかと考えている。

今後、腫瘍内視鏡外科は機器の進歩とともに、さらに普及していくと考えられるが、その基礎研究の発展も祈ってやまない。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第6巻 第2号) 2001年4月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 (本体 2,700 円+税) (配送料 85 円) となります。

2001 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財) 日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木, 高柳) <http://www.mic.med.tohoku.ac.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku,

Tokyo, 113-8622, Japan

©2000, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 阿野, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷㈱ ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 ㈱文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。